

### 1. 真言密教の聖地「高野山」と奥の院

紀伊半島の高野山は空海が開いた真言密教の聖地である。その霊域は、真言密教を修禅する場である「壇上伽藍（だんじょうがらん）」と、空海の御廟（ごびょう）がある「奥の院」に大別される。壇上伽藍は、立体曼荼羅を体現した根本大塔と西塔という 2 つの多宝塔や、宗教行事の中核の場である金堂（こんどう）、空海の肖像を祀った御影堂（みえいどう）、高野山の土地神を祀った御社（みやしろ）、国宝の不動堂など、さまざまな伽藍が立ち並ぶ壮麗な空間である。高野山はその地を取り巻く山々と共に大日如来の密厳浄土（みつごんじょうど）に見立てられるが、その中核を担うエリアである。奥の院は、壇上伽藍から東に 4km ほど離れたところにある。樹木が空を覆い、苔が地を覆う緑のなかに、20 万基を越える石塔が立ち並ぶ静謐な空間である。奥の院への参道には、一の橋、中の橋、御廟橋の 3 つの橋がある。最後の御廟橋は、この世とあの世を隔てる結界であり、参拝者は立ち止まって脱帽し、一礼する。その奥にあるのが、空海の眠る御廟である。

### 2. 空海の入定信仰

高野山においては、空海は御廟で「禅定（ぜんじょう）」、すなわち深い宗教的な瞑想状態にあるとされる。そのため、奥の院では空海に食事を献上する儀礼（「生身供（しょうじんぐ）」という）が毎日 2 回行われる。御廟の拝殿を燈籠堂と呼ぶ。そこに掲げられた多数の燈籠から、生ける空海を慕う信仰が確かに息づいていることが理解できよう。この信仰を空海の「入定（にゅうじょう）信仰」と呼ぶ。

空海の入定信仰に関係が深いもうひとつの聖地が四国遍路である。四国の八十八の札所をめぐるこの巡礼においても、空海、すなわち弘法大師は衆生救済のためにあるいは自身の修行のために、いまも遍路を続けているという信仰が伝承されている。その四国遍路の巡礼者が最後に目指すのが高野山の奥の院であって、ここで 89 個目の御朱印を頂くことで巡礼が完成すると考える巡礼者は少なくない。豊穡な生命の宇宙を空海自らが体現する場所である高野山の奥の院は、まさに聖域の最深部であり秘所中の秘所と言えよう。参拝者は御廟に詣でることでこの秘密に触れ、そして現世に帰ってくるのである。

### 3. 高野山の森林セラピー体験

このように奥の院はまさに「奥」であり、通常の参拝者はそれ以上進むことはない。だが地図的な意味ではそのさらに「奥」を探访することも実はできなくはない。そのひとつの機会が、高野山寺領森林組合によって企画されている森林セラピー体験ツアーである。

森林セラピーとは、特定非営利活動法人「森林セラピーソサエティ」によって、「医学的

エビデンスを基礎とした森林の快適性増進効果・癒し効果等を、健康維持・増進等に活かしていくという、新たな取り組みの総称」と規定され、認定されているプログラムである。全国に 62 ヶ所が認定されているが、人類学、宗教学的には、高野山や吉野、九州の篠栗など、宗教的な聖地との重複が見られることが興味深い。高野山の場合は、山内の森林を舞台に、阿字観などの密教修行からアロマスプレーの製作などのクラフトワークまで、さまざまなプログラムが用意されている。

筆者は昨年、高野山開創 1200 年記念事業で行われた様々な儀礼やイベントの調査を行ったが、その一環として 8 月に、このセラピーの参与観察を行った。セラピーガイドによる奥の院参道の案内の後、生身供を見学し、御廟に参拝して、いよいよその奥の奥に入っていく。クロモジ、シロモジ、ハナイカダ、桂、檜、杉、カラマツなど様々な木々が生い茂るさらなる緑の世界であり、生命の多様さと豊穡さが伝わってくる空間であった。その中で、参加者は精進弁当（とても美味しい）を食べたり、ハンモックで昼寝をしたり、森林呼吸をしたりとそれぞれの方法で、五感（あるいはそれ以上）を通して、生命の秘密を宿した世界に触れる。

なかでも筆者の印象に残ったのが森の香り、とくに桂の芳香である。その甘いバニラのような芳香は、少し濡れた落ち葉を踏みしめることでより強くなる。檜や杉など、爽快な香りとは異なる甘ったるい香りは、金堂や奥の院燈籠堂での開創記念法要で演出された、極楽浄土の世界を想起させ、聖地高野山の奥の奥を印象づけるものとなった。

#### 4. 後日談

ところで、この甘美な香りは、実は意外なところでも体験できる。本学にも桂の木があり、キャンパスを歩いていると時々、その芳香が漂ってくるのである。それは、高野山の秘所での体験を筆者に思い起こさせる。本学のキャンパスはまぎれもない「この世」であり、日常の世界であるが、世界の裏側の不可視の回路で、実は高野山の秘所とつながっているのではないかと夢想してみたりもする。

本学のキャンパスの外周は格好のウォーキング／ジョギングコースになっている。キャンパスの草木や周囲の田園風景は、季節の移ろいを感じさせるものであるが、そんな中で、もしその秘密の回路が開いたならば、あなたにも何かしらの癒しや気づきが訪れるかもしれない。

#### 参考文献：

高野山インサイトガイド製作委員会 2015 『高野山 Insight Guide：高野山を知る 108 のキーワード』講談社

特定非営利活動法人森林セラピーソサエティ 『森林セラピー総合サイト』  
<http://www.fo-society.jp/> 2016 年 8 月 31